

## 3つの感謝

校長 松本 雅史

みなさんおはようございます。  
いよいよ今のクラス、学年での生活も今日を入れて5日となりました。6年生は6日です。先週は、一日一日を大切に過ごすとは、どういうことなのだろうか一緒に考えました。

今朝は、「感謝」について考えてみたいと思います。

私は感謝には3つあると思います。

一つは、「人への感謝」です。

今、皆さんが一番感謝を感じている人はだれですか。  
今、皆さんがこうしていただけるのは、誰かの支えがあってこそです。いつも皆さんを信じ、励まして支えてくれた人は誰だったでしょう。ご飯を食べられるのは誰のおかげでしょう。こう考えると、はっきりと浮かんでくる顔、聞こえてくる声があるのではないのでしょうか。その人の顔は笑顔きつと笑顔だと思います。

さらに、そのご飯をつくってくれた人、お米をつくってくれた人、運んでくれた人、売ってくれた人、実は皆さんは目に見える人だけではない、名前も知らない本当に多くの人と繋がって、今のあなたがいるのです。そうした人たちの支えには、「愛」があります。

「笑顔になってもらいたい。」

「幸せになって欲しい。」

「喜んで欲しい。」

という思いが繋がって、繋がって、そうした愛の繋がりのなかに私たち一人一人がいるのです。それを感じて、心の中に「ありがとう」の心をしっかりもって生活していきたいですね。

二つ目は、「ものへの感謝」です。

ものへの感謝とって、皆さんはどんな物を思い浮かべるでしょうか。鉛筆や消しゴムといった勉強を支えてくれたものもありますね。運動で使ったボールやバット、ラケット、シューズを思った人もいるでしょう。ぬいぐるみという人もいるかな。こうしたものたちは、一人一人にとって「かけがえのないもの」としてとても大切なものになっているのではないのでしょうか。

三つ目は、「場所への感謝」です。

みんなをここまで成長させてくれた「場所」を大切に思う気持ちです。先生は、中学生時代に部活動でテニスをしていました。テニスコートに入る時に、必ず「よろしくお願ひします」と、テニスコートに挨拶するよう先輩から教わりました。練習が終わって帰るときにも、必ずコートに「ありがとうございました」と言って一礼することも教わりました。

「場」を大切にすることは、そこでの活動を真剣に頑張ろうという心の表れでもあります。真剣に頑張ると、自分を成長させてくれた思い出の「場所」が、その人にとって「かけがえのない」場所になります。

皆さんにとって「かけがえのない場」ってどこですか。もしかしたら、もうすぐその「場所」とのお別れが近づいているかもしれませんよ。お別れする前に、できることがあるかもしれませんよ。

今朝は、

「人への感謝」

「ものへの感謝」

「場所への感謝」

の3つの感謝についてお話しました。

心の中でいいです。いつも心の中に「ありがとう」の心が溢れる日々をおくってまいりましょう。

これで、今朝のお話を終わります。

ひと かんしゃ  
「人への感謝」

かんしゃ  
「ものへの感謝」

ばしょ かんしゃ  
「場所への感謝」